

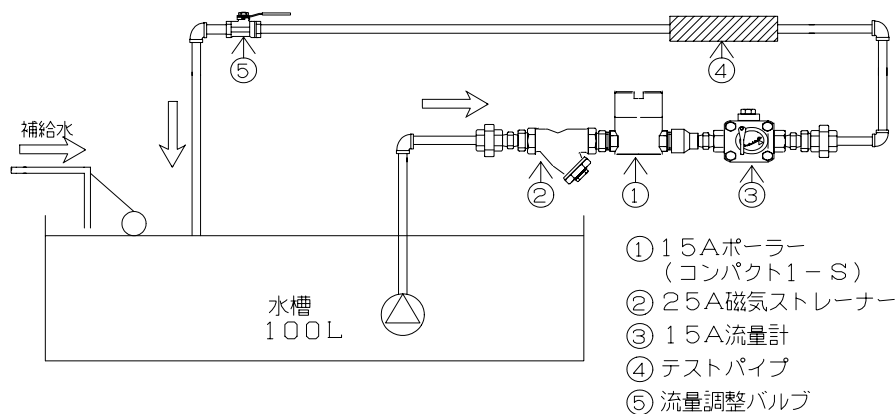
## POLAR NEWS ( 8 ) 冷却水系(ミニテスト用)

資料提供社：環境フロンティア株式会社(静岡市)

テスト期間：1984(昭和59)年6月1日～1984(昭和59)年8月15日(約2.5ヶ月間)

目的：ポーラーで磁気処理した水は、スケールの軟化と溶解を起こすか？

設置図：ポーラー型式：PI-15(15A)を下記の様なテスト装置に設置し、テストパイプのスケールの軟化及び溶解流出を調べた。



ポーラーに流速2m/sec(800L/h)の流量に合う様に調整バルブにて調整しました。

結果報告：下の写真はポーラー使用前(左)及びポーラー使用2.5ヶ月後(右)の比較であります。

この写真でも明らかな様にスケールの軟化及び溶解が判ります。ポーラー設置後1日目位より水槽内は茶色に著しく濁り始めました。半年毎にテストパイプの中を観察して、スケールの軟化と溶解が少しずつ起こる事は判ったが、ポーラーのみで取るにはかなりの年月を要する事も考えられるので、スケール付着防止の目的が主目的で付着したスケール落としとしては薬品洗浄の様な速効性はないと考えられる。

しかし管内のスケールアップは防止できる。

ポーラー使用前

使用後2.5ヶ月

